

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム マッチングイベント結果について(令和4年12月14~16日開催)

■ 結果概要

18都市から26件の地域課題が登録され、35の企業・団体等から121件の提案が集まりました。

今回のイベントでは、43のマッチングセッションを実施しました。

事後アンケートでは、**回答のあった約65%の参加都市から「今後も参加したい」**との回答がありました。

■ イベントでの提案募集18都市:

茨城県かすみがうら市、埼玉県春日部市、埼玉県富士見市、神奈川県茅ヶ崎市、神奈川県平塚市、富山県滑川市、静岡県富士宮市、愛知県稲沢市、岐阜県御高町、滋賀県草津市、大阪府阪南市、奈良県葛城市、奈良県黒滝村、兵庫県三田市、兵庫県伊丹市、高知県土佐町、鹿児島県西之表市、鹿児島県日置市

■ 実施後の自治体アンケート結果：(良かった点)

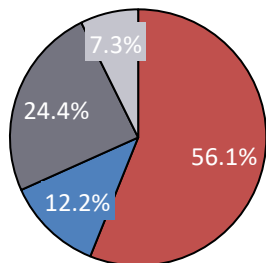
- ・多くの企業からのご提案があり、このイベントでの繋がりが非常に大切、有難いことであったと認識いたしました。
- ・マッチングイベントは初めて参加でしたが、多様な提案を聞けるため、担当課としては良い仕組みだと感じました。
- ・初めての参加でしたが、ファシリテーターのスムーズな進行などで大変感謝しております。ありがとうございました。

■ 実施後の自治体アンケート結果：(悪かった点)

- ・登録した課題に対して、イベント外でも提案が集まり、イベント当日の面談相手の選定が難しかった。
- ・登録した課題に対する具体的な提案ではなく、自社のPRための提案があり、課題とは関係性が薄い提案があった。
- ・企業版ふるさと納税に関する提案が受けられなかった。

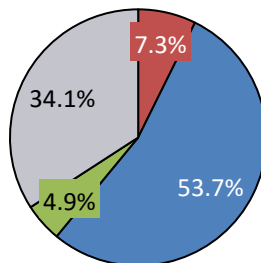


□ 企業・団体等からの提案について、評価とその理由を教えてください。



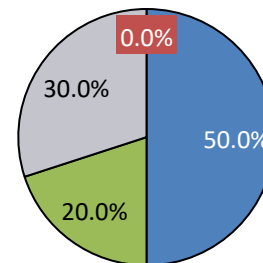
- 課題を的確に捉え、課題解決に向けて参考になる提案だった
- 課題に即していたが、課題解決の参考にならない提案だった
- 課題に即した提案ではなかった。
- 課題に即した提案ではなかったが、他事業の課題解決の参考となった。

□ 企業・団体等とのセッションを経て、今後の方向性を選択してください。



- 具体的な連携の可能性がある
- 継続的に連絡・情報交換したい
- 提案を参考に事業を進めたい。
- 今後、特に協議や連絡をする予定はない

□ 企業・団体等との面談を通じて、課題に対する考え方や気づきがあれば教えてください。



- 登録課題の書き方に問題があり、的確な提案が得られなかった
- 登録課題について、さらなる深堀・検討が必要であると認識した
- 登録課題について、どのような事業者に相談すべきかイメージが湧いた
- その他

※14件のアンケート回答あり

自治体の登録課題事例(抜粋)

- 地方創生やSDGsの達成のため、自治体会員から課題を募集
- 課題解決に向けて民間企業からの提案を受け、1対1形式の面談を実施

地方公共団体	解決したい地域課題のタイトル	課題詳細
神奈川県茅ヶ崎市	カーボンニュートラル・脱炭素社会実現に向けた推進体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素は世界の大きな流れとなり、今後地域内の企業経済にも大きな影響があります。既に地域脱炭素は市内全体での連携が求められる広範なテーマですが、市内人材の不足、他部門からの理解不足、脱炭素をコストと考えてしまい、十分に注力できていないというのが現状です。 この現状を解決するため、気候変動の影響や脱炭素社会が地域に与えるインパクト、他の課題（食品ロス、防災対策、エネルギー代流出など）解決にも繋がる一層のデータ活用方法や費用対効果の高い事業アイデア、地域貢献への可視化方法などをアドバイスいただき、本市の事業推進にいかしていきたいと考えます。
奈良県黒滝村	地域のデジタル化による地域振興	<ul style="list-style-type: none"> 行政DXが求められているが、特に地域のデジタル化をどのように進めれば良いのかが分からない。担当する職員も兼務のためデジタルに関する知識やマンパワーが不足している。自主財源も乏しく、高齢化率が55%を超え人口減少が著しい村において、何らかの方法でデジタル化を推進し、長期的に継続できる仕組みを考えたい。
兵庫県三田市	千丈寺湖周辺エリアにおける公共空間の利活用の促進について	<ul style="list-style-type: none"> 千丈寺湖エリアは、神戸・大阪から1時間圏にありながら、景観資源である千丈寺湖（水辺空間）を擁する優れたロケーションと里山に囲まれた豊かな自然環境を有するなど、アウトドア志向の利用者の集客ポテンシャルが高いエリアとなっている。 こうしたポテンシャルを活かし、エリアに点在する市の遊休地、公園群を活用し、自然（里山・水辺）・食・芸術といったエリア資源を核とした賑わい創出・地域活性化の取組みを展開、エリア来訪者の関係人口化を図り、中長期的に、移住・定住の裾野を広げたい。
高知県土佐町	住民との協働でSDGsを推進するためのコミュニケーションツール	<ul style="list-style-type: none"> 土佐町はSDGs未来都市として「SDGsと住民幸福度に基づく“誰ひとり取り残されない”持続可能なまちづくり」の実現に取り組んでいる。 取組を進めていく上では、町の取組をタイムリーかつダイレクトに町民に届けていく手段、町民が行政や他の町民に想いを届けることができる手段の双方が必要と考えている。 現状でもSNSや町公式webサイト、自治体広報などでの情報発信や、住民参画の場づくり等を進めているが、いずれも一長一短あるのが現状である。 今後、町がSDGsサポーター等の住民登録制度を実施していくのと合わせて、行政と町民が双方向でやりとりすることができるコミュニケーションツールが必要となっている。